

流域やまの恵み 協議会(仮)設立に向けて

活動の軸となる

4

つ
の
事

1 観光の再定義

お客さんが来れば来るほど村の環境が改善されていく、地域が良くなっていく「再生型観光」の形を模索していく。土中環境を軸にツアー設計と食を繋げていきたい

2 農と山の恵みの活用

農作物や山のモノ、郷土食と村の文化歴史などをかけ合わせ、ローカルガストロノミーな食を展開予定。どんぐり、野草、檜、薬草、季節の野菜なども含めながら活用を図る

3 地域づくりの話し合い

急激な人口減少が進んでいる中、御嶽山を有する水源地の村としてどのような方向へ向かっていくのか、定期的な話し合いをしていくコミュニケーションの場の創出

4 副業型雇用の創出

上記3つを組み合わせ、副業的な収益を生む構図を作る。何人かの方がこの枠組みを使って副収入を得る仕組みを作ることやチャレンジできる場の提供をしていきたい

第1回目の話し合いは

4/23

14:00

場所は公民館料民広場です

現在、「流域やまの恵み協議会(仮)」設立の為に「設立準備委員会」が立ち上がり、会議を何回か開き設立に向けて動いております。農水省の「山村活性化交付金事業」の申請を目指して昨年から勉強会を実施していきまして、今年で計画を固めて来年度に申請をする予定で動いていきます。基本的には民間主導で動きませんが、行政が事務局として入っている協議会になっていきまして、2025年度採用の協力隊2人はこの協議会で共に行動していきます。この活動にご興味ある方がいればご連絡ください。